

あなたに届けたいこの日々を

～おもてなしのメモリアルレター～

特別養護老人ホームすずらん 桐ユニット

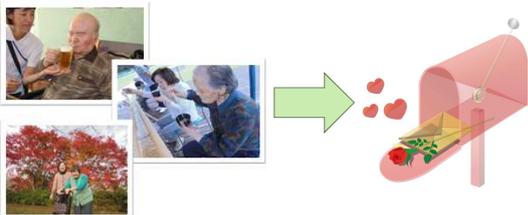
渡辺裕也 石原純子 山口精一
野木将平 志田秀美 吉田順子

施設概要

特養	新型	個室	10床×6ユニット
	従来型	個室	20床×2ユニット
		多床室	25床×2ユニット
	ショートステイ		30床
	デイサービス		30名
ケアハウス			
	一般	個室	10床×2ユニット
	特定	個室	10床×8ユニット

メモリアルレターについて

桐ユニットでは現在、毎月ご家族様に送っている請求書に、利用者様の日常生活や行事に参加した時の写真等と、短い手紙を同封。私達は親しみを込めて、この写真入りの請求書を‘メモリアルレター’と呼んでいる。



なぜメモリアルレターを始めたのか

- ・ユニット内に掲示する。
- ・退居される際、アルバムにしてお渡しする。



- *利用者様の日常生活の様子をリアルタイムでご家族様に見て頂きたい。
- *桐ユニットで、利用者様の為にどのような取り組みを行っているのか、ご家族様に知って頂きたい。(レクや外出など)
- *なかなか面会に来られないご家族様の為に、定期的に利用者様の様子を知ってもらい、安心して頂きたい。

取り組み①

ご家族様への確認、許可を頂く

- ・毎月の請求書と一緒に写真を送っても良いか
 - ・利用者様の写っている写真が、他のご家族様に送られても大丈夫か
- 相談員からご家族様に確認し、許可を取る。



利用者様10名のご家族様全てから了承を得られた

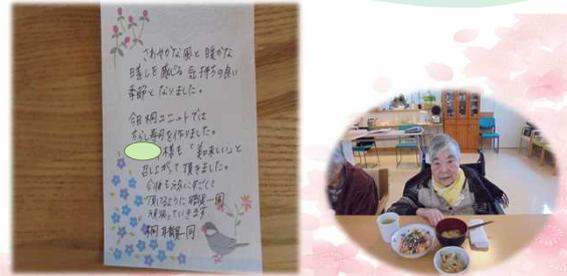
取り組み② 写真の選別と手紙



写真の選別と手紙



写真の選別と手紙



取り組み③

写真の郵送

月終わりに、現像した写真と、職員が手書きした手紙をまとめて、事務員に渡し請求書の中に同封してもらう。

*他の利用者様の写真と手紙を間違えて入れないよう、個別にした封筒で渡している。



ご家族様の反応

3ヶ月ほど経って、ご家族様にメモリアルレターについての意見や感想、これからも継続しても可か否かの確認を相談員より行った。



ご家族様の反応

- 普段の様子がわかって嬉しい。
- 妻と写真を見て、「こういうことしてるんだね」と話をします。孫にも見せて喜んでます。
- 面会に行った時の様子しか分からなかったが、普段の様子、笑顔等が見れて嬉しいです。
- 月に1度支払いに行くくらいなので、行事や外出等の様子や本人の様子が見れて嬉しいです。嬉しくない人なんていない。
- 写真も嬉しいが、手紙も入っていて心遣いが嬉しい。訪問時とは違う表情を見ることができ、自分たちの知らない両親の過ごす時間を知ることが出来て嬉しい。面会時に本人にいろいろ聞いても曖昧な話が、写真によってその様子が手に取るようにわかる。

まとめ

今回、このメモリアルレターを通して、ご家族様に利用者様の日常生活の様子を知って頂け、施設とご家族様との繋がりを密にするための1つのツールとして、メモリアルレターを活用できて良かったと思う。

ご家族様の反応にもあるように、日々の利用者様の様子を知れることが、ご家族様はもちろん、利用者様本人の喜びにも繋がることわかった。

職員間でも、もっと利用者様の笑顔を引き出したい、ご家族様にもっと色んな表情を見てもらいたいと思うようになり、ユニットケアを行う上での大切なことを考え、実行に移す良いきっかけとなった。

今後もメモリアルレターは継続して行い、利用者様とご家族様、またはご家族様と職員とのコミュニケーションツールとして活用していき、厚い信頼関係の構築に努めていきたい。



ご清聴ありがとうございました